

日本は1980年代の後半から積極的な進出が始まり、2005年度のバンコク日本商工会議所の登録日系企業数は1252社まで増加。電機、自動車、化学など日本でも有名な企業がほとんど進出をしています。

2002年頃から日本・タイとの間でFTA（自由貿易協定）EPA（包括的経済連携協定）を提案し、二国間で協議が開始されました。

こちらは2005年8月に基本的な合意がまとまり、あとは調印を待つのみです。（クーデターの件によって現在は時期を調整中です）

第3回のメルマガでも書きましたが

2005年のデータではこのようになっており、タイにとって日本は重要な貿易相手国になっております。

主な輸出相手国 1.米国 2.日本 3.中国 4.シンガポール 5.香港

主な輸入相手国 1.日本 2.中国 3.米国 4.マレーシア 5.UAE

ただ気をつけなければいけないのは

ここまで日本のほうが貿易収支で黒字が続いており日本の品質の良い商品が数多く入るのはタイの地場産業にとってはダメージが大きくなります。

（これはどのASEANの国にとって同じように抱えている問題のようです。）

FTA・EPAについて数多くのことが書けるのですがこちらは次回に回します。（お正月号でじっくり読んでいただければ幸いです）

管理人のコメント

タイが親日と言うのはいままであまりタイランドに関心なかった方にはピンと来ないかもしれません。

第二次世界大戦ではタイと日本は同盟関係にあり、ビルマ方面に侵攻した際には泰面鉄道の建設などにタイの人を使ったと言う歴史があります。

この時の歴史を題材にした『クーカム』と言う

小説がありまして、このお話がタイ人の間ではとても有名です。

日本人将校コボリとタイの女性が恋に落ちるが最後は悲しいラブストーリーで何回もタイではリニューアルされております。

TVドラマや本、劇、映画になっており、普通のタイ人だったらコボリと言う名前を知らない人はいないのです。

また日本のアニメ、漫画が若い人には大変人気です。

ジャニーズのタッキーが一番人気です。パタヤの音楽祭にタッキー&翼が来タイした際には空港がパニックになり、結果その後の音楽祭には日本の有名人は招待するのが難しくなったそうです。

□□N○2 タイ株上級者編です■ ■

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120

Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.

過去のタイ株関連メルマガであまり触れられてなかったコーナーを作りました。

●● 006 THAI です。○○

タイ国における最大の航空会社。国内線・国際線共に運航しており、
2004年9月時点で83の旅客機を所有しており、
(現在81機)40ヶ国以上の国へ就航している。
1991年7月19日にSET上場を果たした。
日本ではJAL、ANAなどが2大航空会社として競争しておりますがタイでは
タイ国際航空として大手で一つの会社のみ。
タイ国財務省の持ち株比率が高く、実質国営企業のようになっている。
子会社・関連会社にホテル(ロイヤルオーチャード)、空港管理、格安航空会社
(スカイアジア)などを持っており、
多岐にわたる。紫がイメージカラーで、2005年度は業績の不調により
TOPの経営者の交代劇があった。

2004年12月に発生したインド洋大津波の影響で
2005年度は大幅に業績が悪化した。2005年度は経営陣の交代劇、再建計画の
発表などによりだいぶ持ち直してきている。

2006年9月にはスワナプーム新空港もOPENし
タイへのアクセスする便数も増加。THAIエアウェイズでも今後の外国人観光客の
更なる増加を期待している。

タイ国際航空 (THAI) の2006年度の連結決算が12月報道され、
(05年10月~06年9月)の連結決算、売上高が1786億バーツとなり、
前年度比9.9%増加しました。新空港の開港での路線増設、
航空乗客が増加したのが理由だそうです。
営業利益のほうでは、原油高の影響で燃料価格で経費がふくらみ83億バーツと
前年比で22.7%減少した。ただし一方で、バーツ高による為替差益が
61億バーツと320.3%増加したことによるのと、
航空機の売却代金を計上したことで指標となる純利益が89億バーツと
32.7%増加しました。

さて6回目はTHAIです。
日本の方でもタイ国際航空は見たことがある方が多いかもしれません。
そんなわけで取り上げてみました。

2005年度はインド洋津波大地震の影響で大きな
ダメージを受けた感のあるタイエアウェイズですが、その後再建計画も
出て2006年4月には株価も上昇しました。
その後再び世界的に原油高でゆっくりと下降し、新空港の材料で11月には再び
上昇しました。

(このサイクルで売買できた方は儲かったはずです。)

さまざまな航空会社がありますがそこそこのサービスができる会社
でタイランドは観光立国ですのでその期待も込めて注目している企業です。

将来的にタイの国民も豊かになってもう少し飛行機を利用すれば株価も上昇するのでは
はないかなと思います。

ただまだまだ一般のタイ人の感覚では飛行機は高いものと認識が強く、タイの北部の
都市チェンマイへ行くのにも

私の仕事場の同僚は長距離バスで移動していました。

2005年度からノックエアーなど格安航空会社の参入により、強引な割引合戦に
よっても国内線は顧客の奪い合いとなった

結果も今後さらに影響していく可能性が高いです。

(ちなみにTHAIではタイ国内線を値上げする予定です)

もう少し詳しく知りたい方はホームページでよろしくお願ひします。

□□No3 タイ国内ニュース編です■

12月5日はタイのプミポン国王のお誕生日で

タイの国中お祭りで王宮前広場には大変な数の国民が集まったとのこと。

国王のお誕生日の曜日色である、黄色のシャツをまとった数万人の
国民で黄色一色だったようです。

プミポン国王はこれで79歳。

かなりご高齢になりましたがいろいろな看板では

「Long Live The King」のキャッチコピーでほとんどの国民が

いつまでも長生きをと願っているようです。

プミポン国王は1927年に生まれ、1946年に18歳で国王に即位。

その後ずっとタイの王室のトップとして長きにわたって

タイ国民のシンボルとして崇拝、尊敬されております。

もう一つは前タクシン政権で予定されていたメガプロジェクトの一部

鉄道新線建設計画が承認されたニュースがありました。

11月タイのスラユット暫定政権は7日の閣議で、バンコク首都圏での鉄道5路線の
建設計画を承認しました。

計画された事業規模は1620億バーツ(約5200億円)。

日本の国際協力銀行が円借入を供与する方向で調整している。

総延長118キロで、2012年完工を目指す。

年内に公聴会などで住民の意見を聞き、来年1月に最終計画をまとめるそうです。

どこが工事をするかでまた株価も動きそうですね。
とにかくまだまだ続くこのバンコクの大渋滞を少しでも緩和していかないとかなり大きな時間の損失、見えない経済的な損失が大きいはずです。

こちらの新路線は
レッドライン、パープルライン、グリーンラインなど色で分けられていて
まだ仮称なので今後名前がつけられる可能性もあります。

ゼネコン、不動産、またそれに加わる業者もかなりこのニュースは嬉しかったのではないのでしょうか。

しかしSTECのように空港へのモノレール建設で
欠陥工事が見つかってしまい(笑)株価が大幅に下がってしまうケースもありうるのが
タイの仕事ぶりなので注意も必要なのです。

□□No 4 追伸です■

ちょっと雑談になりますが
2006年度は日本では暗い話が多かった気がします。
いじめが大きく取り上げられており、汚職問題も乱発でしたね。

少し景気が上向いて来ましたが
それでも何かこう鬱陶気・空気みたいのがどんよりしている感じです。

インターネットが普及しても
誰か信頼できる人に相談できない、本当に深く話せる人がいないのが
問題として浮かび上がってる気がします。

(あくまで自分の意見ですが・・・)
今回はそのあたりに絡んだお話です。

さてこの欄ではそもそもわたくしABEがタイに来るきっかけになったこと
からお話したいと思います (埼玉編第5号です。)

中学校で一番気を使っていたのが人間関係だった気がします。
何故ならわたくしが通ってたその学校はかなり不良が多くあんまり
良いうわさがなかった学校でした。

しかし公立校ですから私立の学校へ行く以外は
選択肢がないのが現状でした。
中学校と言うのはある意味とても狭い社会でちょっとしたことで
いじめが始まったり、立場が逆転してしまうことが多々ありました。

学校での生活・振舞いはとても慎重で、

決まったグループと絡みながら生活するというパターンでした。
目立つ行為はそういうターゲットになりやすいからです。

ところがふとしたことで
その生活が変わってしまうことが起きてしまいました。

前回で中学校に入る前から一所懸命コツコツ勉強してしまった結果
1学期の期末試験で成績発表され1番を取ってしまったのです。

「あの冴えないように見えるやつが？」
クラスメートの反応はこんな感じでした。

困ったことに目立つと言うことを最大限避けてきた自分の中でも
びっくりな出来事でした。
これで一斉に自分がどんな人間か知られることになってしまったのです。

背が一番低く、野球部で下手くそながらも3年間続けていたこともあり、
それほどひどいイジメに遭うこともなかった中学校生活ですが
2年次には心ないクラスメイトに嫌がらせ等々を頻繁に受けたこともありました。

それでも友人もいて打ち込めるものがあつたために
精神的に追い詰められることもなく過ごせたのだと思います。

このメルマガ、そしてブログで「こう言った生き方をしている人もいて日本を
飛び出しちゃって海外で働く人生もあるんだから悩んでたってしょうがないや」

と少しでも思える方が出て来て楽観的になってもらえれば
幸いです。

ちなみにこのメルマガ今回2倍の作業がかかってしまいました。
書き終わりかけた頃、データが吹っ飛びました。

5分ほど自分の意識も飛びました^^。
データ保存はまめにしないとイケませんね。

最後までお読み頂き有難うございました。

ブログともども次号もぜひよろしくお願ひいたします。

●注意事項です

1：わたくしのメールマガジンは客観的情報の提供を目的としており、投資等

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120
Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.

